（お知らせ）

ALPS 処理水の海洋放出に係る
放射線環境影響評価（運用段階：2025 年度）の評価結果について

2026 年 11 月 26 日
東京電力ホールディングス株式会社

2023 年 8 月 24 日から開始した多核種除去設備等処理水（以下、「ALPS 処理水」）の海洋放出については、政府の基本方針において、我が国の法令に基づく規制基準を厳格に遵守することはもとより、関連する国際法や国際慣行を踏まえ、海洋環境に及ぼす潜在的な影響についても評価するための措置をとることとしております。

IAEA（国際原子力機関）の安全基準文書では、施設の運用開始など必要に応じて、放射線環境影響評価を実施することとなっており、当社は、これまで、設計、建設、運用の各段階で放射線環境影響評価を実施してまいりました。

ALPS 処理水の海洋放出は長期にわたる取り組みであり、放射線環境影響評価については、放出ごとの核種組成の違いや気象海象の変動などの影響を長期的に確認していく観点で、年度ごとに実施していくこととしております。

2026 年 4 月に公表した 2024 年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の放射線環境影響評価（運用段階）に続いて、このたび、2025 年度（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の放射線環境影響評価結果（運用段階）を取りまとめましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

2025 年度の評価結果は、これまでの評価と同様、線量限度や線量拘束値、また国際機関が提唱する生物種ごとに定められた値を大幅に下回る結果となり、人及び環境への影響は極めて軽微であることを確認しました。
同評価結果につきましては、関係機関に説明してまいります。

<別紙>
別紙 1：ALPS 処理水の海洋放出に係る放射線環境影響評価（運用段階：2025 年度）の評価結果について
別紙 2：多核種除去設備等処理水（ALPS 処理水）の海洋放出に係る放射線環境影響評価報告書（運用段階：2025 年度）

以　上